



# 令和4年度 伊勢市立伊勢宮川中学校経営方針

## 1 基本理念

生徒を中心にすえ、「未来を生き抜く力」を身に付けることができるよう、家庭・地域等と連携し、教職員がチームとなって教育活動に力を結集して取り組む。

## 2 学校教育目標

未来に向かって 自ら学び 高め合い たくましく生きる生徒の育成

## 3 目指す生徒像・・・『自分の「着地点」が描ける生徒』

- 自ら学び、最後までやり抜く生徒 (確かな学力)
- 感動する心を持ち、高め合う生徒 (豊かな心)
- 健康でたくましい生徒 (健やかな体)



## 4 目指す学校像・・・『一人一人の「未来への分岐点」を大切にしている学校』

- (1) 生徒たちが学ぶ喜びや達成感を実感できる学校  
分かる授業・助け合い高め合う仲間・「未来への分岐点」のしかけ …**意欲と自己肯定感**
- (2) 保護者・地域に信頼され、愛される学校  
確かな学力・豊かな心・開かれた学校・相互理解・連携協力・安全確保 …**安心と信頼**
- (3) 教職員が働く喜びを実感できる学校  
創造・挑戦・実践・達成感・共感・共有・協働・明るさ・元気・健康 …**使命感と活力**  
※「**校務支援システム**」を活用して合理的な運営と効率化を図り、総勤務時間の縮減を目指す

## 5 目指す教職員像・・・『まごころをつなぎ合い、高め合う仲間』

- (1) 仕事に対する**使命感や誇りをもつ**教職員
- (2) 生徒に対する**温かいまなざしや責任感をもつ**教職員
- (3) 常に新しい教育情報を得て**学び続ける向上心をもつ**教職員
- (4) 教育の専門家としての**確かな力量と豊かな人間性をもつ**教職員
- (5) 支え合い**チームとしてタイミングを逃さず組織的に取り組む**教職員
- (6) 保護者や地域住民の**期待に応え信頼される**教職員



## 6 具体的な取組

### (1) 確かな学力の育成

主体的・対話的で深い学びを実現し、「確かな学力」と「未来で生きて働く力」を育む

- ①どの子も分かる楽しさを実感できる授業の充実 … (iPad 等 ICT 機器の有効活用)
- ②指導方法の継続的な工夫改善 … (学力調査・検査結果の分析と活用)
- ③個に応じたきめ細かな指導と支援 … (指導と評価の一体化)
- ④授業規律の確立 … (準備と聞く姿勢)
- ⑤体験活動の充実 … (「ほんもの」との出会いの企画実行)
- ⑥社会の変化に柔軟に対応した教育の推進  
… (情報教育、キャリア教育、国際理解教育、環境教育、平和に関する教育、法教育等)

## (2) 豊かな心の育成

### かけがえのない生命を尊び、仲間を大切にできる豊かな心を育む

- ①一人一人の願いや目標の丁寧な把握と実現 …(WEBQUの活用、きめ細かな進路指導)
- ②生徒の主体性を大切にした生徒会活動の実現 …(自分たちで考え工夫して活動する指導)
- ③規範意識の向上 …(互いに嫌な思いをさせない生徒指導)
- ④人権教育の充実 …(学んだことを行動につなげる人権学習)
- ⑤特別支援教育の充実 …(ユニバーサルデザインの実現)
- ⑥道徳教育の充実 …(全教員で取り組む計画的な授業づくり)
- ⑦読書活動の推進 …(朝読書の充実と図書館利用の工夫)
- ⑧地域の教育資源を活用した教育の充実 …(地域資源の発掘)

## (3) 健やかな心と体の育成

### 生活習慣を確立し、健やかな心と体を育む

- ①「部活動ガイドライン」に沿った魅力的な指導による体力や技能の向上
- ②生徒の主体性を大切にした部活動の実現 …(自分たちで考え工夫して活動する指導)
- ③不登校生徒を出さないチーム支援の実現 …(学校復帰や部分登校の支援)
- ④スクールカウンセラーや関係機関、専門機関との連携による教育相談の充実
- ⑤養護助教諭・栄養教諭との連携、学校保健委員会の実施による健康教育の充実

## (4) 安心・安全な学校づくり

### 安全で安心な生活を送ることができるよう、未然防止・予測・回避につながる力を育み、家庭・地域と協力し、安心して安全な環境づくりに取り組む

- ①全教職員の危機管理意識の向上 …(小さな気付きの即時共有と改善)
- ②防犯・防災・交通安全等の安全教育の充実 …(計画的な指導と最新情報の収集)
- ③家庭や地域等との連携 …(すぐメールの適時活用、取組の発信と共有)
- ④定期的な安全点検の実施 …(通学路や施設の安全管理の徹底)

## (5) 家庭・地域等との連携

### 教育活動について家庭・地域へ積極的に情報を発信し、連携する

- ①学校HPの更新や学校だより「SAKURA II」、各種通信等の発行による積極的な情報発信
- ②生徒の育ちを中心にすえた家庭との連携 …(よいことの報告と家庭訪問)
- ③地域人材・資源の活用と連携 …(専門的な知識と技能をもった人材の活用)
- ④外部講師等の積極的な活用による特色ある教育活動の推進

## (6) 教育環境の整備

### 教育活動を充実させるため、効果的かつ安全で清潔な教育環境の整備・美化に取り組む

- ①全教職員による教育環境の整備 …(いつまでも新しく美しく使う心意気)
- ②ICT機器等の整備と有効活用 …(情報教育担当を中心に積極的に学び合う)
- ③施設設備、備品等の予算要求 …(必要なものを必要な時に整える)

## (7) チーム体制の確立

### 働く仲間の心と体の健康を大切にする

- ①風通しのよい職員室づくり …(つぶやきの共有、理解と尊敬)
- ②月1回以上の定時退校日の実施、時間外勤務時間が月45時間(年間360時間)の上限を超えない職場の実現
- ③年次有給休暇の年間5日以上全員取得